

FOCUS

追いかける。大学生。

ここ数年、「大学の都心回帰」が進んでいる。キャンパスを立地の良い都心に置くことが、受験志願者を増やす要因になるからだ。実際、首都圏では東洋大や共立女子大が都心のキャンパスに学部を置き、志願者を増やした。関西でも都心回帰の動きが活発化している。

同志社大	京田辺キャンパス	
	文学部 商学部 経済学部 法学部 文化情報学部	心理学部 理工学部 生命医科学部 スポーツ健康科学部 グローバル・コミュニケーション学部

立命館大	びわこ・くさつキャンパス	

同志社大は京田辺キャンパスで約15000人の学生が文系と理系で融合し学んでいる。2013年、同志社大は郊外の京田辺から都心の今出川に文系学部を移転する。立命館大も2015年に大阪府茨木市に新キャンパスを開設計画だ。郊外のキャンパスがほぼ理系学部のみになり、キャンパスの多様性に影響があるのではないだろうか。

同志社は今出川と京田辺の2つのメインキャンパスがある。京都市中心部にある今出川キャンパスは、四条や河原町など学生に人気の繁華街に近い。一方、京都市南部にある京田辺キャンパスは都心部から離れている。これまで、大半の文系学部の1・2年生と理系学部は京田辺で学び、文系学部の3・4年生は今出川で学んできた。しかし、2013年に一部を除き文系学部を今出川に完全移転し「都心回帰」する。約8000人の大移動に向け、

広がる文理の溝 減る学部間交流

今出川は新校舎の建設や新学部の設置で活気に満ちている。

これまで、京田辺キャンパスでは文系学部と理系学部の学生がさまざまな課題に取り組みプロジェクトが行われてきた。また、サークルも文系と理系の学生の交流の場として機能してきた。来年から同プロジェクトはほとんどが理系学生になる可能性があり、京田辺のサークルもメンバーの多くが理系になってしまいかもしれない。これに対し、ある男子学生(理工・2年)は「サークルで文系の人たちとも仲良くしているので、寂しい。疎遠になってしまうのではないかと心配する。

立命館は京都市の衣笠と滋賀のびわこ・くさつ(以下BKCC)がメインキャンパスだ。現在、ほとんどの文系学部は衣笠、理系学部と経済学部と経営学部はBKCCで学んでいる。だが、2015年に都心に近い大阪府茨木市に新キャンパスを設け、BKCCから経営学部、衣笠から政策科学部がそれぞれ移転する。BKCCには理系と経済学部のみ

が残ることになる。BKCCの学部では比較的女子の多い経営学部の移転により、男女比にも変化がありそうだ。ある男子学生(理工・1年)は「キャンパスの雰囲気として文系を留めておいた方がいいと思う」と男女比がさらに広がることを懸念している。

滋賀にある龍谷大の瀬田キャンパスは、理工学部と社会学部と国際文化学部がある。2015年に国際文化学部が滋賀県の瀬田キャンパスからメインの深草キャンパスへ移転する。関西でも学部のキャンパス移転の動きが広まっている。

両大学とも移転により、キャンパスごとに特色ある教育を学生に与えることを狙いとしているが、本音は受験志願者を増やすことを期待している。都心回帰し、学部を再編すると同じキャンパスで学んでいた学生が離れ離れになってしまふ。これまで学部を越えた交流を育んできた学生の多様な文化が失われるかもしれない。

UNN関西学生報道連盟

FOCUSは
神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです